

## ツマベニチョウだより 第 25 号

今年になって初めてのお便りを差し上げます。

### 先進地の山川町を訪ねました

ツマベニチョウの増殖誘引運動も5年を経過してどうやら日南海岸の何ヶ所かでチョウが定着してくれたようですので、3月2日から3日にかけて先進地の山川町を訪ねました。目的のひとつは鵜戸神宮のツマベニチョウの絶滅の危機を救って下さった室屋正樹様のお墓へのお礼参りと、いまひとつはツマベニチョウを増殖することによる悪影響、例えば大型のツマベニチョウが殖えたことによって天敵の寄生蜂や寄生蠅などが大增殖して他のチョウが少なくなったり、従来の生態系に悪影響を及ぼすようなことはなかったかといったようなことを知るためでした。

実は昨年8月に山川町役場宛にそのような質問状を差し上げたのですが回答をいただくことが出来ませんでしたので、何方か詳しい方に直接お尋ねしてみようと思ったのです。幸い宿泊したペンションの「菜の花館」の館長の大和田靖憲様のご紹介で、同地のツマベニチョウの増殖に始めから尽力されている福永正夫様にお会いできて、何彼と教えていただきました。

お話では「ツマベニチョウの増殖を始めて20数年になるがこれという悪影響は出ていない。その証拠に町内にある鹿児島県立のフラワーパークでは、四季折々に各種の蝶で賑わっており、絶好の蝶の観察場所となっている」とのこと。そして「ツマベニチョウを殖やすうえで是非措置すべきことは、自然のままに放置しておけば幼虫は3日も経たぬうちにいなくなる(天敵に食い尽くされる)ので最小限の保護が必要である」と、簡単な防護ネットの張り方などを教えて下さいました。

このほか福永様にはギョボクの種子80粒と、サンメッセ日南の「蝶の楽園」の開園に伴って開設された「蝶の部屋」に間にあうようにと、ツマベニチョウの蛹26頭をいただくなど、親身になってのご支援を賜りました。

### 国際ソロプチミスト会員の皆様がギョボクの苗を植栽して下さいました

昨年11月14日に差し上げたギョボクの苗を国際ソロプチミスト日南(倉元良子会長以下32名)の皆様が、各自ご自宅で越冬させられた苗をそれぞれご自身で猪崎鼻に植栽して下さいました。そこは昨年、創立10周年を記念して同会で造られた「ギョボクの森」に補植されたもので、より一層充実した森になりました。

### サンメッセ日南に見事な「蝶の楽園」が完成しました

小冊子「翔ベツマベニチョウ」の趣旨に賛同して下さい、当初からギョボクやランタナなどの花木を植えて下さっている日南市のテーマパーク「サンメッセ日南」におかれては、

ツマベニチョウの増殖だけでなく、自然の中でチョウの姿を観察できるようにと昨年の夏以降、チョウの愛好家の指導を受けて「蝶の楽園」づくりに努められた結果、手作りとは思えない素晴らしい「楽園」と「蝶の部屋」を完成され、開園7周年の記念行事とあわせてこの程盛大な開園式が行われました。そのことについて宮崎の新聞各社が取材されたので、そのなかの宮崎日日新聞の報道(要旨)を次に紹介いたします。

・・・サンメッセ日南の「蝶の楽園」は13日開園7周年式典に合わせてオープンした。

開放型のチョウ園は全国でも珍しく、5月には蜜を求めて飛んでくるチョウを観察できそう。楽園は園内で一番高い位置にあり、広さは約300平方メートル。それぞれのチョウやその幼虫が好む花や食草など約70種を植えている。

同日は関係者や来賓ら約100人が出席してオープニングセレモニーを実施。テープカット後に出席者による放チョウもあり、10種100匹のチョウが華麗に舞う姿に歓声が上がっていた・・・(次のページの写真を参照して下さい)

#### 潮小学校でツマベニチョウの羽化が相次ぎました

4月15日以降ツマベニチョウが下記のとおり次々に羽化したと組坂教頭からお知らせがありました。

4月15日 2頭、16日 2頭、17日 1 1頭、18日 2頭、  
21日 1頭、22日 2頭、24日 1 1頭 合計13頭

#### サンメッセ日南でも羽化が続いています

開園セレモニー用に温室で羽化させた山川産の26頭と地元産の10頭の他に、自然状態で下記のとおり羽化が相次いでいると河本企画室長からお知らせがありました。

4月13日 2頭、18日 6 2頭、21日 3 2頭

これらのツマベニチョウは13日の2頭を空へ放った以外はすべて観察用の「蝶の部屋」に移したところ本日(4月24日)現在10個の卵を産んでいるとのこと。

なおまだ蛹が残っているので羽化ラッシュは当分続きそうだとのことです。

セレモニー用に羽化させた山川町の蝶たちは地元産との交雑を避けるため、役目を果たしたあとは懇ろに処理して空へは放されませんでした。

#### 季節到来によりギョボクの播種や各種の挿し木を実施しています

ようやく時期が来ましたのでギョボクの播種やランタナなどの挿し木を始めました。

3月26日 ギョボクの種子100粒を播種。4月8日 ランタナ100本を挿し木。

4月9日 ヒメノウゼンカズラ40本を挿し木。4月14日 デュランタ25本を挿し木。4月16日ギョボク100本を挿し木。4月22日 ギョボク50本を挿し木。

平成15年4月25日

海老原秀夫



「放蝶風景」 (宮崎日日新聞提供)



「蝶の楽園」全景 (サンメッセ日南提供)